

(公財) 東京動物園協会 次世代育成支援 行動計画

この計画は、急速な少子化の進行を踏まえ、次世代の社会を担う子供が健やかに生まれ、かつ、育成される社会の形成に資することを目的に制定された「次世代育成支援対策推進法（平成23年4月1日施行）」に基づき、協会では平成24年4月に初めて策定し、今回2回目の更新を行うものである。引き続き、子育て世代を含む職員すべてのワークライフバランスを図り、その能力が十分に発揮される雇用環境の整備、及び次世代育成の具体的な支援に取り組むこととする。

1. 計画期間 平成28年4月1日～平成31年3月31日までの3年間

2. 目標および行動計画

目標1：年次有給休暇等の取得率の向上、超過勤務の削減

<対策>

- 平成28年4月～ 年次有給休暇の取得率、超過勤務の現状把握の継続
- 平成28年4月～ リフレッシュ休暇やノー残業デーの実施継続
- 平成28年4月～ 社内情報ネットワーク「サイボウズ」による啓発及び周知の継続

目標2：職員の出産・子育てを支援する取組み

<対策>

- 平成28年4月～ 妊娠・子育てに関する制度や届出書類等をまとめた案内作成の継続
- 平成28年4月～ ワークシェアリングによる男性職員の子育て参加支援の促進等による男性職員の育児休業取得を可能とする社内風土の醸成
(計画期間中に男性の育児休業取得者及び部分休業取得者1名以上)
- 平成28年8月～ 社内情報ネットワーク上の育児支援フォルダを利用した関連制度の周知や情報提供継続
- 平成28年8月～ ニュースレターの送付による、育児休業中の職員に対する定期的な情報提供を継続
- 平成28年4月～ 「妊婦通勤時間」制度の継続による、勤務開始時間及び終了時間の柔軟な対応
- 平成28年4月～ 「妊娠初期不調対応休暇」（仮称）制度の創設を検討
- 平成28年4月～ 妊娠・子育て相談窓口（社会保険・休業・福利厚生等）の継続

目標3：次世代育成に関する具体的な支援

<対策>

- 平成28年4月～ 授乳室整備やベビーカー貸し出し、ベビーベッド付トイレの整備、キッズルームの創設、教育普活動等、来園者サービスの更なる充実
- 平成28年4月～ 職員の家族による職場見学会の具体的な計画と実施

目標4：対策の検証と次期計画期間への継承

<対策>

- 平成28年4月～ 上記対策については各年度末に検証を行い、次期計画期間への発展的な継承に努める。